

議会活動報告

議会では、8月29日（金）、インショップの視察やスマートインターチェンジ設置に関する要請活動を行いました。

当日は、朝から富岡市高瀬にあるJA甘楽富岡集出荷センターを視察した後、そのまま配送トラックを追いかけ、東京都あきる野市にあるインショップ（東急ストア内）を訪れました。インショップとは、スーパーなどの量販店の中に入っている直売所のことです。毎日、新鮮野菜を直送しています。野菜が売り場に到着する頃、すでにその野菜を手取る消費者の姿があり、直接声を聴くことができました。その後、群馬県選出国會議員、小淵優子衆議院議員、中曽根弘文参議院議員、山本一太参議院議員（海外出張のため不在）へ（仮称）甘楽パーキングエリアスマートインターチェンジの設置に関する要請書を提出し、早期実現に向けた協力を要請しました。

（仮称）甘楽PAスマートインターチェンジの設置に関する要請

甘楽町は、多くの歴史的な文化遺産に恵まれており、国指定名勝「楽山園」と一体となった武家屋敷地区の整備、町屋地区の町並み整備といった、文化財や歴史的な景観を活かしたまちづくりを進め、近年はその効果により観光客が増加している状況です。また、気候は比較的温暖で災害の少ない住みやすい土地であるため、住宅団地の開発や工業用地の誘致を積極的に進めていますが、遠方からの新たな観光客の取込みや地域の活性化のためには高速道路網を活用した誘導が課題となっています。

社会資本の大きな柱である高速道路は、広域ネットワーク向上により地域経済の振興や災害対応の迅速化、高次医療施設への搬送時間の短縮など、その効果は大きなものがあります。

しかし、日本の高速道路におけるインターチェンジ（IC）間隔は約10kmと、欧米諸国のIC間隔の約4～5kmに比べ約2倍となっており、高速道路が通過する市町村のうち約3割の市町村においてはICが設置されておらず、通過するのみの状況となっています。

このため、甘楽町では甘楽パーキングエリア（PA）を利用したスマートICの設置について平成22年度より調査、検討を進めているところです。

甘楽PAについては、上信越自動車道の吉井ICと富岡ICの8.9km区間のほぼ中間に位置しており、高速道路へのアクセス向上のため（仮称）甘楽PAスマートICの設置が強く望まれています。

甘楽町議会は、高速道路の利便性を享受し、スマートICを活用した観光振興や産業振興を通じ地域の活性化を図りたいと考えておりますので、事業の推進について特段のご理解とご支援をお願いいたします。

平成26年8月29日

群馬県甘楽郡甘楽町大字小幡 161-1
甘楽町議会議長 黛 哲夫



インショップにて



要請書の中曽根議員へ



要請書を小淵議員へ